

中和田教会だより

子供の信仰教育

主任司祭 宮下神父

教会の大切な布教活動の一つとしての子供の信仰教育のために皆さんが祈り協力奉仕して下さいますようお願いいたします。小学校へ通って居るお子さんのない方も人ごとと思わないで。親として子供が世間並に自活出来るように養育することには神様から与へられたつとめであり、それがこれ以上大切なことは子供に信仰を伝へ永遠の生命への道を歩ませることに教へ導くこととあります。

この教会でも日曜学校で熱心に奉仕下さる方々が居ることをほんとに感謝して居ります。子供さんが日曜学校へ休まずに出られるように真面目

昭和五十七年一月二十六日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員発行

に考へて努力していただくとうございます。おかあさん共の他の方々にも出来るならば日曜学校の先生になつて奉仕して下さる方があつたらう幸だと思つて居ります。尚子供の信仰教育は日曜学校だけではたりません。信者として成長するたためには各家庭の教育がなかつたら実りません。親は子供に祈る姿を見せ子供と一緒に祈る姿を子供に聖書や聖人伝を読んでもかかせ子供が祈ること、ミサにあずかること、聖書を讀むことを体でおぼへ、そうすること、あたりにあるやうに仕向けることが大切であります。信仰が親から子供へ子から孫へと代々よく伝わるように考へ祈りながら努力いたしなう。以上

灰の水曜日(二月二十四日水)

- (一) 昭利五十六年度事業報告
- (二) 昭利五十六年度会計報告
- (三) 新旧役員挨拶
- (四) 新役員挨拶

だけ協力し、おみんまで結束して益々よい神の教会として発展するよう、どうぞよろしくお願いいたします。とのお言葉がありました。

昭利五十六年度事業報告
昭利五十六年度会計報告
新旧役員挨拶
新旧役員挨拶

① 教会のお掃除について
今年度は五月五日のあ
る月(5/5、7/10)に限って
才五土曜日を平素お勤め
なとで奉仕したくても出
来ないと云う方のための
日として設けました。
当番表に名前の載つて
いない方でも、協力でき
る方はこの日に奉仕して
下さい。(時間は午後二時
から)

② 教会行事、婦人会行事に
際してお手伝いの必要な
時は、どうぞ呼びかけには
積極的に対応して、お手伝
に来て下さい。

③ 今年度行事に対する希望
として、観劇、映画鑑賞

を兼ねたハイキング等のお
声がありました。

④ 今年度の地区代表者並に典
礼とお茶の当番月は次の通
りです。

和泉地区	楠田恵美子	一七月
踊場地区	下山治子	二九月
岡津地区	中島喜美子	三九月
中田地区	吉田万喜子	四十月
下飯田地区	小野和子	五十月
七浦地区	七浦昭子	五十月
松田地区	松下マヤ子	六十月
瀬谷地区	松田マヤ子	六十月

総会に続いて新年会に移り
ました。乾杯の後、昼食を共
にしなから福引きを楽しみ全
員で歌をうたい、見事な三重
唱のご披露もあつたりで盛り
上がりの中、終了致しました。
お知らせ

① 横浜教区カトリック婦人同
志会について
同会の活動等について、総会
の席上、宮崎幸子様から説
明と入会のおすすしめがあり
又左記の通りの総会のご来

委員会報告

一月八日(一月二十日臨時開催)

一 信徒総会議題について
一般会計、収支決算並びに今年
度予算について審議

壮年会だより

一月十日(日)九時ミサの後十
八名の参加者により新年会
を開催しました。五十六年
度の会計報告等があり、後若
干の酒宴をかんんで、なごや
かな親睦会を送りました。
奇数月の才一日曜日を定例
会に予定してありますので
会員の皆さんは出来るだけ
出席下さいますようお願いが
致します。

婦人会だより

婦人会々則に依つて新年度
のスタートとしての総会が
一月二十四日九時の御ミサ
の後行なわれしました。
一) 神父様のお話
新しい年が始まりました。
今年も役員さん達と出来る

収められました。

一 婦人同志会オの回総会

二月十六日(土)十三時三十分

ミサ、昼食会、総会、映画

映画「ベルギーのママと愛の養子たち」

会費は千二百円、申込×切二月十日

新入会

アグネス中谷田鶴様

中田町二二〇(ハニー五七九)

よろしくおねがい致します。

転出者

マリア森信子様、菊名教会へ

計報

七浦昭子様の御母様が一月二十日

お七くなりになられました。さ

かられたご靈魂のために祈

り下さい。

以上

二月の典礼

灰の水曜日(二月二十四日水)

灰の祝別式とミサ聖祭午後

七時半より

・十字架の通行、午後四時半

(四回節中の毎週金曜日)

児童福祉の日の祈りと献金は

一万五千四百七十一円でした。愛の献

金と併せて三万五千円送金しま

した。ご協力ありがとうございました。

中和田教会だより

第62号

昭和五十七年二月二十八日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員会発行

TEL (803) 6141

信徒総会開催!!

一月三十一日午前九時のミサ後多数の信者の出席の下で五十七年信徒総会が開催され次の議題が審議されました。

一、会計報告

五十六年度一般会計収支決算及び五十七年度予算について甲斐財務委員より報告があり、出席者多数の賛同を得て採択されました。

収支決算及び予算報告書
《別紙》

二、教会委員改選

次の方々が今年度からの教会委員に選ばれました。

・東原秀夫

委員会報告

二月五日(金)開催

(一)各委員の担当役割

東原——委員長
甲斐——財務
花坂——行事
井上——礼
宮川——散育
宮崎——教育

・甲斐至信
・花坂洋一
・井上昭男
・宮川登
・阿部映子
・宮崎佐喜男
新委員連と出来るだけ協力して共同体としての教会発展の努力をしましょう。

婦人会だより

(一)二月の定例会は、多数の出席により二月二十一日(日)九時ミサ後バザーの件を中心に熱心に話し合われました。
(二)委員会報告
今年度より広報委員の一人となられた阿部映子さんからの報告がありました。
(三)バザーの件については今年度のバザーは五月末を

宮崎——広報(文化)
阿部——広報(文化)
(二)ミサ出席時間について
最近ミサの開始時刻に遅れて来る人が多少見られる。少くともミサ開始前には着席して小冊子を一読する位の精神的余裕を持てる様教会の内面的充実を計って行く。
(三)宮下神父喜寿の祝いについて
詳細は今後検討していく。

援助を必要とする多くの友人へ

二月二十四日の灰の水曜日から四旬節に入りました。愛の献金に多くの方々の温かい協力をお願いします。

お知らせ

(一)四旬節の黙想会

三月二十八日(第四日曜日)

指導司祭 ウルフ神父様
(イエズス会士)

(二)十字架の道行

四旬節の毎週金曜日午後四時半より行方わします。

広報委員より一言
七浦前委員に代り本年度から広報を担当する事にいたしました。寄稿依頼等御協力をお願いします。よろしく

目標に準備を始めます。バザーの収益はオルガン購入の残額に充当させたい。たきたく、婦人委員皆様の御協力で成功させたい。思います。そのようしくお願い致します。その言葉が阿部(清)会長よりありました。

(1)自主製作品

昨年と同じ様に一人一位以上。売価で総額千円位のものを出品する。

(2)共同製作品

各々バザーの係の方を中心に考えていた。たきたく思い、作品についてこの良いアイディアがあり、りました。役員までお寄せ下さい。左お各家庭で眠っている生地、糸等をなるべく早く寄附して下さい。不要品並びに古着もお願います。また子供さん達のために古い玩具もありました。御提供下さい。今年には子供のコナナも設けたいと思っております。

(3)食堂のこと

三月定例会で話し合いました。思い、その内容その他について考えており、下さい。編物手芸品講習会の件は二月二十八日(日)から毎週ミサの後行います。まず一回目は昨年好評だった糸糸の座布団、靴下カバーを行います。

(4)用意するもの

カギ針 セウハチ一本(並太用) 四ノ五号一本(中細用) 糸 中細 五十グラムニケ 並太

(5)バザーの各係の責任者

・総務 阿部(清) 佐田
・会計 横塚 大宮 岩崎
・不要品 七浦 森田
・洋裁 丸田 中島
・手芸 松田 小野寺
・食堂 楠田 吉田
阿部(映)

(以上大宮)

一般会計収支決算及び予算報告書

カリッ7
中和教会奉仕会

(56.1.1 ~ 56.12.31)

(57.1.1 ~ 57.12.31)

摘要	予算	実績	摘要	予算
(収入)			(収入)	
月定献金	2,150,000	3,046,500	月定献金	3,400,000
ミサ献金	800,000	919,258	ミサ献金	950,000
特別献金	—	280,027		
ハザー収益	400,000	484,090	ハザー収益	450,000
補助金	600,000	210,000		
その他		150,156	その他	250,000
計	(3,950,000)	(5,090,031)	計	(5,050,000)
前期繰越金	814,748	814,748	前期繰越金	1,024,652
合計	4,764,748	5,904,779	合計	6,074,652
(支出)			(支出)	
祭儀費	170,000	101,190	祭儀費	151,000
布教文化費	395,000	396,127	布教文化費	386,000
火災保険料	48,000	48,000	火災保険料	48,000
人件費	2,403,000	2,271,000	人件費	2,380,000
福利厚生費	132,000	128,192	福利厚生費	130,000
消耗備品費	130,000	178,980	消耗備品費	30,000
通信費	85,000	89,440	通信費	93,800
水道光熱費	327,000	370,722	水道光熱費	387,000
租税公課	30,000	30,000	租税公課	30,000
自動車諸費	260,000	248,730	自動車諸費	135,000
会議費	25,000	—	会議費	20,000
消耗品費	10,000	12,767	消耗品費	10,000
修繕費	—	133,000	修繕費	674,000
備品費	—	226,100	備品費	910,000
渉外費	—	55,000	渉外費	50,000
雑費	10,000	23,479	雑費	14,200
本部献金	354,000	475,000	本部献金	435,000
退職積立金	93,000	92,400	退職積立金	98,000
修繕積立金	100,000	—		
予備費	192,748		予備費	92,652
合計	4,764,748	4,880,127	合計	6,074,652
翌期繰越金	0	1,024,652	翌期繰越金	0

中和田教会だより

昭和五十七年三月二十八日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員会発行

TEL(03) 6141

ゲッセマネのイエズス様

主任司祭 宮下神父

神であるイエズス様はゲッセマネの祈りの時には神の力を取り去られた者のように弟子達が見てもあわれに思われ、弱くおぼろしく思われ、弟子達に祈りを求められ、たゞとして父よおぼろしく思われ、たゞ此の杯を私から取り去つて下さいと祈られ、祈られ、祈られ、原罪以来人間性はゆがめられ、良い教を聞いても気が向かないので実行はできず、人々は何等かの欲の為に罪を犯した時は良い気持ちになり、もうけた様な気持ちになり、だかろこそ僅かには苦しいものとなるのです。イエズス様のこの杯とは人類の罪の償いの為の苦しみと恐れ

婦人会だより

バキガ等を中心に熱心に話し合いました。

三月例会は一週間繰り上げて十四日に行われ、二十七名が出席されました。次の事項が婦人会の意見としてまとめられました。

- (一) 御復活祭のお祝い並びに神様の孝養のお祝いの件
婦人会としては一人でも多くの方々が二のお祝いに参加したいとの主旨で当日朝、皆んなでサンドイッチの手作り、又その他の物を加えてパーティーをしました。その節は皆様の御協力をお願いいたします。
- (二) パサリの件
今年婦人会の食堂は次の様な物を扱うことにいたしました。

- ★手作りケーキとレモンティー
 - ★カレーライス
 - ★味噌おでん(三人にやく)
 - ★アメリカンドッグ
 - ★さけ寿司
- 尚、三月十七日の第二回奉仕日には多数参加下さりあります。

ろしい死を意味して、イエズス様の苦しみと死は私達の生活から悪を取除き、私達に「もしエの救いをささぐる力」があります。

私達もイエズス様になら、この心で祈り捧げる方々、深い信仰は思いかけない方々、救い、神の祈りを聞き入れられ、救い、と導いて下さるでしよう。

つとめて祈るよう努力いたしますよう。

委員会報告

三月五日(金) 開催

- (一) 復活祭
ミサは十時からの一、二、三、その後引き続きパーティー開催
- (二) 宮下神父の参拝の祝い
ミサ後のセレモニーとして

かとうごごいしました。次回三月三十日(火)午前十時から午後三時頃迄致します。その間の奉仕出来る方は随時御協力下さい。

(三) 四月十日(御復活祭前日)午前十時から大掃除と印の準備等の作業を致します。その日のうちに出来る方は御協力下さい。

バス遠足募集
[桜丘教会・同人社団]
行先: 熱海MOA美術館
日時: 4月28日(木)
AM 8:30 桜丘集合
天理寺前集合
会費: 2,800円
(お弁当各自持参)
申込: 4月15日(木)

要理学校を終了して

大原 恵美子

私は六年間の要理学校を終了しました。思い出せば楽しかった事、つらかった事いろいろありました。私は一年生の時に中和田教会へ来たので、はじめとて心に配っていたのも同

聖の花束と祝福の言葉を差し上げる。

- (三) 四旬節の黙想会
三月二十八日(日)にウルフ神父様の指導により実施されるが当日は九時からミサ一回とする。

パサリの件

開催日: 五月三十日(日) ミサ後
内容は例年と同じ程度とするが今年特別に大物中古品あるいは不要品の売買を計画に入れる。

(更) 具体的な方法は今後詳細検討しますが、皆様には今のうちから家の中をもう一度見まわして心当りの品に目をつけておいて下さい。

要理学校の件

予定日: 八月三日(三泊三日)
目的地: 伊豆下田 対象: 小学生
(六) 行事用テント補修の件

壮年会だより

三月七日九時ミサ後三月の定例会が開催され、壮年会として今後積極的な何を進め

じ学年の人たちが私を友達にしてくれ、たのびの時、はともうれしかたです。二年生になつて初聖体を受けた時は、白いドレスを着て神様の御嫁さんになるみたいで、とても嬉しかった。三年四年と学年が上ると要理の勉強もあつた。くつた、たけどかんぱりした。四年の時、みんな教会に泊つた。のとき五年の時、山梨県へ行た。要理学校も楽しい思い出です。六年生の春に中学生の人たちが聖信を受けるのを見て私もつと勉強して早く聖信を受けたいと思ひました。ふりが、みると長い様で、とても短い六年間でした。これから中学生に方ても小学生になつた聖書の勉強をたれ、かかんぱりうと思ひます。

以上

お知らせ

- (一) 計報: 松下ツ子様・石川雅子様の御尊父がおこる方に、左の御参拝した。みまかされた。ご重役の為にお祈り下さい。
- (二) 聖週間について
・枝の主日(受難の主日) 四月四日(日)
・聖休(金・土)のミサは夜八時から

TEL (803) 6141

16部残

今年のご復活の日に初聖体を
受けた四人の子供達が純粋で
清らかな最近の心境を次の様
に語ってくれました。

イエスさまへ

いしかわやすこ

わたしはイエズスさまが大
すきです。わたしたちのため
に十字架の上で死なれたため
にわたしたちのために天の門
をひらいてくださったのです
から……。でもイエズスさ
まがなくなりになうずに天
の門をひらくことができ
れば今はもうとしかあわせな
い。かたをしていたかもしれま
せん。けれどもそのあとにわ
たしは「よかつた」と思いました。
だつて三日目に「よかつた」
のですから。そのとき方どはい
ままでに行つたときより
一番ほつとしました。わたし
はイエズスさまと「よつしよた

天ごくにいけるなうにいっし
ようけんめいへんきようし、お
いのりをし、心をきれいにして
人にしんせつできるようかん
ばります。たがうたくさんの
おめぐみをつくさい。天ごく
に行つたらイエスさまの顔
がはじめに見えます。その日
さたのしみにまっさいです。
どうぞゆきでわたしをおま
もりください。

ぼくのはフセいたい

たけだしのすけ

ぼくはいろいろなばんきやうをしてぼくといいしよにばんきやうをしとてみるみるといっしよにもうちよとでございいたいさいただけるようになりました。ぼくはイエズスさまをいたなくのぞうれいします。イエズスさまをいたたくのをまなかなとまています。

あたしのはフセいたい

やましたやよい

わたしははつせいたいのかばんきょうのまえにはかならずロザリオ一枚んをやりまします。そしてかばんきょうをはじめます。いまはイエズスさまとは人のおでしさんとさいごのおしよくじをしたこととかさばんきょうしています。わたしもはやくごせいたいをいたなきたいです。

イエスさま

みやぎしめほ

わたしはイエズスさまをし
んじます。わたしはイエズス
さまがたいすきです。イエズ
スさまはいつもわたしたちを
まもってくれてありかとうご
ざいました。わたしはいつもイエ
ズスさまといっしょでよかったと
おもいます。これからわたし
たちのそばにいてください。

巡
礼

第65号

昭和五十七年五月三十日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会広報委員会

TEL(803)6141

信倒深い信者でいるには、もつと
もつと祈るねばなるない事を教
へてくれる秋田湯沢台の巡礼の旅
を無事に終つる事ができました。

|| 祈りつつ熱心に私に「なるおう
とするな」と超自然的生命にあ
いて素晴らしい進歩さとけるで
あるう ||



(レジオナリエ中島)

五月七日(金)開催

模倣教区報についで
教区内のコミニケーション強化
を目的として今後教区報季刊
が発行される事に方りました。
中和田教会には一世帯一部の
割で送る小てきますので御希
望の方は一部二十五円を所定
の用紙に入れお持ち下さい。

五月十六日(日)例会開催

ハザードに
ついて

(一) 出店内容

(二) 販賣品
やきとり・やきソバ・飲物・練乳

聖良手藝品、洋裁、鮮肉、
新品、生品の不用品、他

出品、自主製作品もこの日に大方出揃い、例會では、バザーに關する諸事項について意見交換しなが、最終的確認がなされました。バザー當日の各仕事の分担も決まり、揭示してあります。が、みんな心を合わせて親睦の面でも実り豊かなものと致したいものです。尚、バザーに先立、二十八日に奉仕日か設けられ、多数の方の参加で和やかに値段つけの作業が行なわれました。

二 おめでとうございます

武石真由美様には四月二十六日
女児を出産されました。お健やか
な成長をお祈り申し上げます。

中学生会の近況

今年度の中学生会は春休みの三日間の練成会から始まりました。今年の練成会のテーマは「隣人愛」でした。自分かどれだけ相手の気持ちになつて考えらるるか、又どれだけ相手の立場になつて行動してゐたかを新聞記事を使つて皆で話し合つたり、ボランティアに行きたりして考えてみました。練成会の中に難民定住センターへのボランティアを取り入れることは新しい試みでした。はじめボランティアを誘つてゐた中学生が帰る時には「また来ます」と約束してゐました。ボランティアの感想をこう書いた子が何人かいます。みんな喜んでくれたから行つてよかったです。

講演会のお知らせ

横浜教区カトリック
婦人同志会 主催

日時; 6月15日(火)

PM 1.30 ~
場所; 藤沢カトリック教会

(龍溪駅南口 江戸電デパートそば)

講師：吉山登神父
（レテンフ・オール会・聖の

（カトリック）教会主任司祭
テマ；性と人間教育

方、会場以外の方は当日
として200円必要です。男性
の方もどうぞ参加下さい

お知らせ

これは直ぐのボランテアの精神ではな
いでしようか。中学生がこの様に感じ
てくれたことだけでとてもよかったと
思います。新聞を使った勉強会は
ボランテアのつかりが出てか参加者は
ぐつと減ってしまいましたか参加者は
は自分の生活中でも学校での友達と
のかかりをイエズスの目を通して見直
せただけは方いかと思えます。現在
日曜日の例会ではマザーテリサのことと
生活の見直しを平行して進めています。
この中で自分の信仰と生活の中とをきず
ますことができたらずばいいと思つて
います。しかし最近ミサの後家族の方と
一語に帰ってこよう子が目立つてきます。た
せひ参加できる様御協力下さい。尚
夏合宿の日程が八月九日と十日と決ま
りました。今年も例年通り三俣川教
会と合同で行います。乞参加!!

(以上 森脇)

以上
森脇

(一) 計報 磯田様、森田様の御尊父が
おてくなりになられました。みまか
された靈魂の爲にお祈り下さい。

(二) 去る五月十六日(日)は、老人福祉の会を
キャンピング・フィールドにした広報の日で
した。当日の献金九千七百円は、愛の
献金と合わせて計三萬円を送付
いたしました。